

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 5月27日

事業所名 かすたねっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえな い	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	②	職員の配置数は適切である	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○			業務改善について広く職員が参画してのPDCAサイクルは行っていないため、今後は取り入れていけるよう検討。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		外部評価について検討していく
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		標準化されたアセスメントツールを使用できる職員がいない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		チームという形では行っていない	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○			長期期間に関する課題を設定していく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			放課後の時間は少人数のため、長期休みなど生活介護の利用者と集団活動を行っている。		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			必要に応じて行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			記録や口頭にて情報は共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月ごとの見直しと状況が変化した場合に必要な対応はしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				地域交流の機会が少なかったため、回数を増やしたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			ノートや口頭で情報は共有。関係者全体での共有が必要な事については会議にて共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			家族を通して主治医へ連絡はしている。また、病院と体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		就学時には情報共有は行なったが、現在は必要性がないため行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○			
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○		回数は少ないため、来年度は増やしていきたい。	
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○					
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○					

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		ペアレントトレーニングの出来る職員がいない
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		保護者会を年に1～2回開催しているが、参加率が低いため、長期休暇に参観日を検討。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	③5	個人情報に十分注意している	○				
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		法人祭りを年に1回開催し、地域住民への参加を呼び掛けている。
	非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
④0		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
④1		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		計画には記載していないが、身体拘束については、同意書ももらっている。 必要な身体拘束については、計画に記載できるようにしていく。
④2		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				事業所の指示書に記入欄を作成

	④③ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例集は無いがヒヤリハットを職員間で回覧し共有している。	
--	------------------------------	---	--	--	------------------------------	--

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。